

# MFSプルードント・ファンド (米ドル売り円買い)

追加型投信／内外／資産複合

## 償還 交付運用報告書

第5期(償還日2022年11月11日)  
作成対象期間(2022年6月16日～2022年11月11日)

償還日(2022年11月11日)	
償還価額	14,148円10銭
純資産総額	0.302785百万円
第5期	
騰落率	38.1%
分配金(税込み)合計	-円

(注) 騰落率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。分配金をお支払いした場合、分配金(税込み)を含めて計算しております。

交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記の委託会社のホームページの「ファンド情報」から当ファンド詳細ページにアクセスし、同ページの「目論見書・運用報告書」タブから「運用報告書(全体版)」を選択することにより、閲覧およびダウンロードいただけます。

運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「MFSプルードント・ファンド(米ドル売り円買い)」は、2022年11月11日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、日本を含む世界の株式および債券ならびに現金(同等物を含みます。)に投資するMFSメリディアン・ファンズプルードント・キャピタル・ファンドの円建ての外国投資証券(ZH1円シェア・クラス)を高位に組み入れた運用を行うことにより、信託財産の長期的な成長を目指して行なってまいりました。

ここに、今期の運用経過等につきましてご報告申し上げます。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



MFSインベストメント・マネジメント株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル

<https://www.mfs.com/japan>

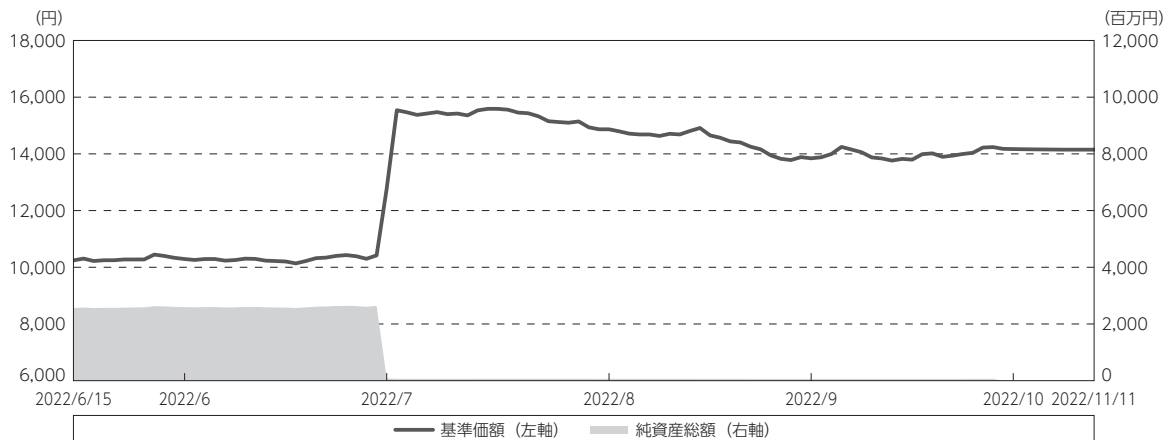
お問い合わせ先<営業部>

TEL.03-5510-8550

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



(注) 当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ■基準価額・騰落率

期 首：10,242円

期末(償還日)：14,148円10銭 (既払分配金(税込み)：-円)

騰落率：38.1% (分配金(税込み)込み)

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## 基準価額の主な変動要因

## 第5期(2022年6月16日～2022年11月11日)

当ファンドは、MFSメリディアン・ファンズプルードント・キャピタル・ファンド(以下、主要投資対象ファンドという場合があります。)の円建て外国投資証券(ZH 1円シェア・クラス)の組み入れを高位に保つことにより、実質的に日本を含む世界の株式および債券ならびに現金(同等物を含みます。)に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。当期は、主要投資対象ファンドにおいて、運用方針に基づき、株式のウェイトを低めにする保守的な運用を行うとともに、米ドル売り円買いの為替取引を行いました。

当期の主要投資対象ファンドの価格は下落しましたが、期中の大口解約の影響による基準価額変動が大きくプラスとなり、その結果、当期の基準価額は上昇しました。

主要投資対象ファンドの運用による基準価額の変動要因は以下の通りです。

## ・基準価額の上昇要因

株式銘柄のうち、セイジ・グループ、ヴォルタース・クルーワーなどを保有していたことが基準価額

にプラスに影響しました。

### ・基準価額の下落要因

株式銘柄のうち、LEGイモビリエン、アルファベットなどを保有していたことが基準価額にマイナスに影響しました。米国の金利が上昇したため、米国の短期国債や社債の保有が全体として基準価額にマイナスに影響しました。

米ドル/円相場が円安ドル高となったことから、米ドル売り円買いの為替取引が基準価額にマイナスに影響しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2022年6月16日～2022年11月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	49	0.373	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(47)	(0.359)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 1)	(0.004)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1)	(0.009)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.026	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 等 )	( 3)	(0.026)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用(監査費用)および法定書 類の作成・印刷等費用
合 計	52	0.399	
期中の平均基準価額は、13,190円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

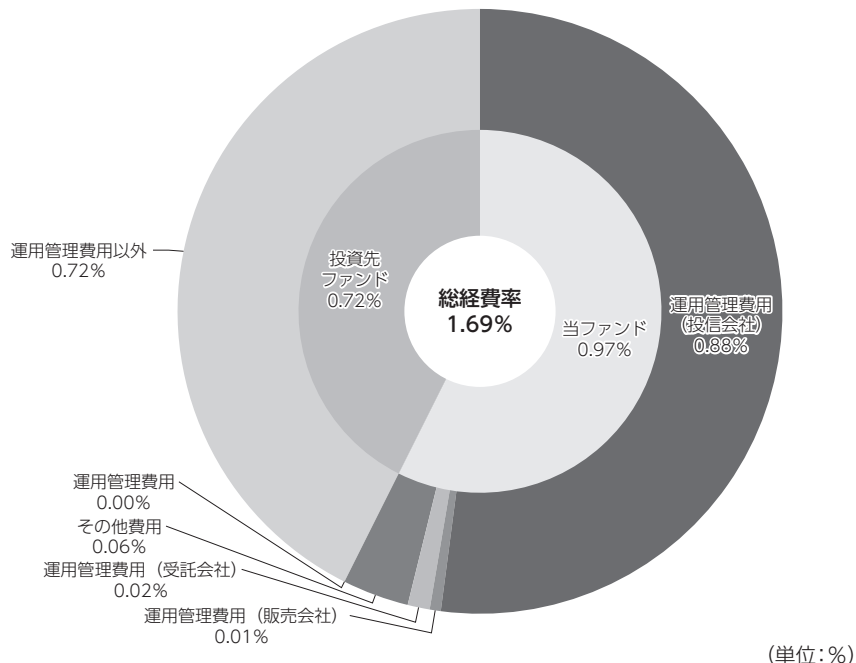
(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



(単位: %)

<b>総経費率(①+②+③)</b>	<b>1.69</b>
①当ファンドの費用の比率	0.97
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.72

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 四捨五入の影響で1万口当たりの費用明細の比率と差異が生じる場合があります。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの主要投資対象である外国投資証券および国内投資信託受益証券です。

(注) 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率は、外国投資証券のファンド管理費用の上限比率および国内投資信託受益証券の運用管理費用以外の比率の合計です。

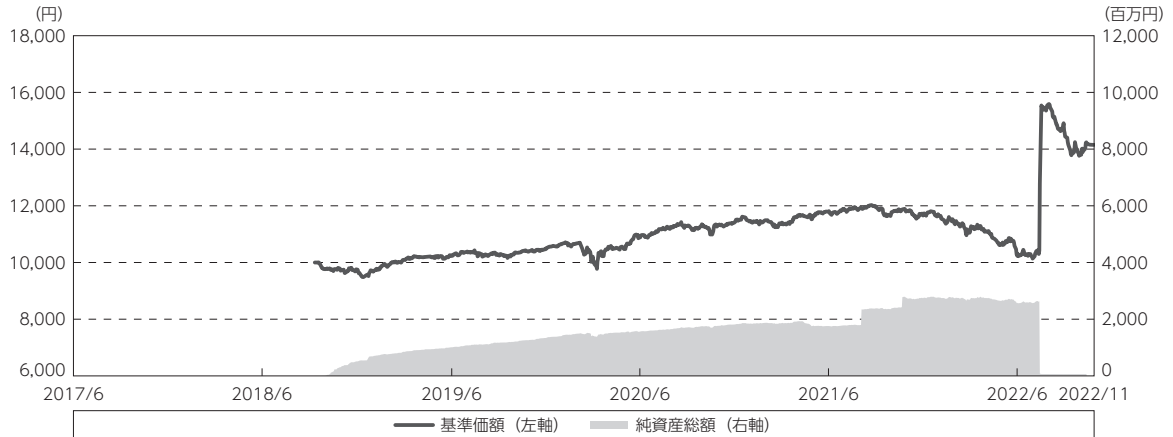
(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2017年6月15日～2022年11月11日)



- (注1) 当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。  
 (注2) 分配金の支払実績がないため、分配金再投資基準価額の推移は表示していません。

	2018年9月26日 設定日	2019年6月17日 決算日	2020年6月15日 決算日	2021年6月15日 決算日	2022年6月15日 決算日	2022年11月11日 償還日
基準(償還)価額 (円)	10,000	10,250	10,888	11,801	10,242	14,148.10
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.5	6.2	8.4	△ 13.2	38.1
純資産総額 (百万円)	1	1,010	1,560	1,758	2,560	0.302785

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注2) 償還日を除き純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年6月17日の騰落率は設定当初との比較で、償還日の騰落率は償還日の直前の決算日との比較です。

## 投資環境

第5期(2022年6月16日~2022年11月11日)

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初から2022年8月半ばまでは、米国のインフレ鈍化観測を受けた米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げペース鈍化への期待に加え、米大手ハイテク銘柄を中心とした良好な企業決算が好感されたことから堅調な動きとなりました。しかし、米消費者物価指数(CPI)の伸びが市場予想を上回るなどインフレが収まらず、主要中央銀行の一段の利上げが世界的な景気後退を招くとの懸念から、9月後半から10月にかけて下落し、期初の水準を割り込みました。その後は、企業の好決算、主要中央銀行の利上げペース緩和期待から上昇基調となり、期首比プラス圏を回復して期末を迎えました。当期のMSCIワールド・インデックス(税引き前配当込み・現地通貨ベース)の騰落率は+5.77%となりました。

当期のグローバル債券市場では、世界的に金利が上昇しました。米10年債利回りは、期初の3.3%近辺から8月初めまでに2.5%台半ばに低下したあと、堅調な雇用統計やFRBがインフレ抑制に向けた一段の利上げの必要性を示しているとの見方などから期末には3.8%台に上昇しました。独10年債利回りは期初に1.6%台半ばではじまり、欧州中央銀行(ECB)が11年ぶりの大幅利上げを実施したことやユーロ圏消費者物価指数(HICP)の高止まり、英国の経済政策における混乱などから上昇し、期末には2.1%台半ばとなりました。

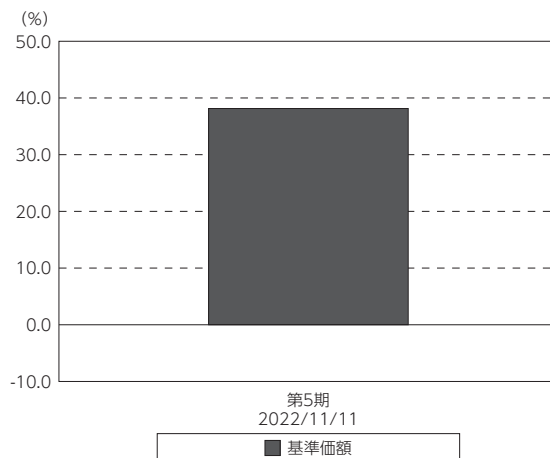
為替市場では、米ドル/円相場は期初から8月末まで135円近辺で推移していましたが、9月に入りFRBが一段の利上げを示唆したことを受けて円安が進み、10月中旬には150円台となりました。その後は、日本政府・日銀による円買い介入の影響もあって円高方向に進み、141円台で期を終えました。ユーロ/円相場は期初に140円近辺で始まり、ECBの利上げなどを受けて期末にかけて円安基調となり、144円近辺で期を終えました。

## ポートフォリオの状況

期を通じて、主要投資対象MFSメリディアン・ファンズプルードेंट・キャピタル・ファンドの円建て外国投資証券(ZH1円シェア・クラス)の組み入れを高位に保ちました。償還に備えて、2022年10月27日以降は保有ファンドをすべて売却して短期金融資産での運用としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。



受益者のみなさまにおかれましては、これまで当ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

## 《お知らせ》

該当事項はございません。

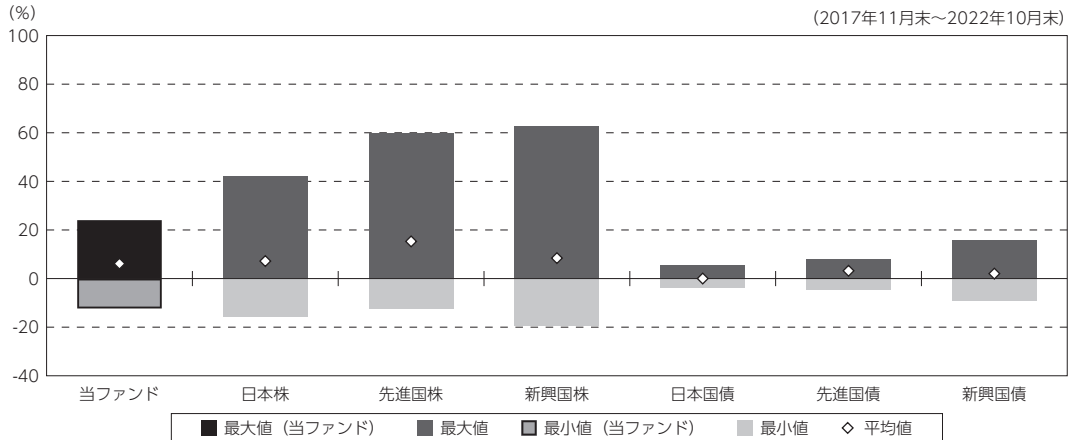
## 《当該投資信託の概要》

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年9月26日から2022年11月11日までです。
運用方針	<p>この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>①主として、MFSメリディアン・ファンズ-ブルーデント・キャピタル・ファンドへの投資を通じて日本を含む世界の株式および債券ならびに現金（同等物を含みます。）等に実質的な投資を行います。</p> <p>②原則として、MFSメリディアン・ファンズ-ブルーデント・キャピタル・ファンドへの投資比率を高位に維持します。</p> <p>③資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	<p>次の有価証券を主要投資対象とします。</p> <p>①MFSメリディアン・ファンズ-ブルーデント・キャピタル・ファンドの外国投資証券（ZH 1円シェア・クラス）</p> <p>②FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の受益証券</p>
運用方法	<p>MFSメリディアン・ファンズ-ブルーデント・キャピタル・ファンドの特色は以下の通りです。</p> <p>①日本を含む世界の株式および債券への投資を通じて、資産の長期的な成長を目指します。</p> <p>②各アセットクラスへの配分比率は、目安として、株式を50%～90%程度、社債等を10%～30%程度とします。また、ポートフォリオ全体の価格下落リスクを軽減するため、あるいは市場環境や魅力的な投資機会が乏しいと考える場合は、ポートフォリオの40%程度まで現金等を保有する場合があります。</p> <p>③ZH 1円シェア・クラスは、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として当該クラスの純資産額を米ドル換算した額とほぼ同額の米ドル売り円買いの為替取引を行います。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の合計額とします。</p> <p>②分配金額については、上記①の範囲内で委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合や委託者の判断によって分配を行わないことがあります。</p> <p>③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて元本と同一の運用を行います。</p>



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	24.0	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 12.3	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.7	△ 4.5	△ 9.4
平均値	6.1	7.2	15.3	8.4	0.0	3.2	2.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2017年11月から2022年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2019年9月以降の年間騰落率を用いております。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドの騰落率は分配金再投資ベースです。ただし、当ファンドは分配金の支払実績がありません。

## ※資産クラスについて

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込み、円ベース)

新興国株 MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債 NOMURA-BPI国債

先進国債 FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債 J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

## ※指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

●東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X総研又は株式会社 J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 《ファンドデータ》

### 当ファンドの組入資産の内容

2022年11月11日現在、有価証券等の組入れはございません。

### 純資産等

項 目	第5期末(償還日)
	2022年11月11日
純 資 産 総 額	302,785円
受 益 権 総 口 数	214,011口
1万口当たり償還価額	14,148円10銭

\* 当期中における追加設定元本額は58,044,143円、同解約元本額は2,557,519,658円です。